

コンソーシアムの活動状況を知っていただくため、不定期でかわら版を発行しますのでご一読ください。

●地上レーザー計測（OWL）による広葉樹林試験計測を行いました

近年、地上レーザー計測（森林3次元計測システムOWL、以下「OWL」という）を活用した森林調査が行われていますが、スギやヒノキの人工林での活用が多く、広葉樹林での活用は進んでいません。広葉樹は樹形が通直でないこと、様々な樹高の木々が入り乱れていることから、正しく計測できない可能性があります。そこで、広葉樹林でのOWLの汎用性を検証するため、美濃加茂市蜂屋町地内の里山林整備事業地にて試験計測を行いました。

森林文化アカデミースマート林業推進係の大島係長を講師として、OWLの機能、操作の取扱いを説明していただき、参加いただいた会員に操作を体験してもらいました。

プロット内（10m×10m）を計測したところ、1計測地点あたり45秒で計測が可能で、4測点で3分。林内の移動を含めても5分程度で計測が完了しました。

今回、計測したところ、1回目の計測ではデータの取得に不備があり、エラーが発生した個所がありました。これは、低木や竹が繁茂していたことから、OWLのカメラ付近に枝や葉があったことにより、一部のデータが欠損し、画像処理ができなかったと推測されます。

そこで再計測では、測定地点の周辺を確認し枝葉の除去や測点を1～2点多く取るなど注意をしました。

計測結果は、伐採率は本数率56%（60本→26本）、材積率45%（25m³→14m³）でした。広葉樹の計測は可能でしたが、より精度の高いデータを取得するには、調査個所、地形条件、立木の太さや計測範囲などOWLの特性を理解し計測する必要があります。

林分調査のほか支障木等の計測など、様々な事業地でも使用可能と見込まれます。

▼裏面へ続く



●森林サービス産業に取り組んでいる静岡県内の民間施設を視察しました

森林整備・育成委員会では、令和2年度から山村地域に新たな雇用と収入機会を生み出すものとして期待される森林サービス産業について勉強会を開催してきました。

今回、森林サービス産業に取り組んでいる静岡県沼津市「IN THE PARK」と富士宮市「ふもとっばら」を調査しました。

「IN THE PARK」は、旧少年自然の家をイノベーションした施設で、宿泊をメインとして運営しています。宿泊棟とは別にドーム型テントや宙に浮いている吊りテントがあり、ユニークな宿泊施設として人気となっています。また、イベントの開催にあたっては沼津市と連携し隣接する都市公園内での花火イベントや夜間の昆虫採取など様々なアイデアで集客を図っています。

ストーリー性のある企画内容により、利用者の満足度を高めることで、3万円（1泊2日2食付き）の単価でも集客は可能となるなど、参考となる説明をいただきました。

「ふもとっばら」は、江戸時代から林業を営んでいる竹川家が、17年前に東京農大試験場跡地に開設した35haのキャンプ場で、現在は年間約40万人も来場する人気のキャンプ場となっています。広大な森林を活用して林内でのグランピングやマウンテンバイク、オフロード用のセグウェイによる散策も提供しています。

スタッフが案内人として各コースを案内し、竹川家の歴史や森林との関わりなどを説明し林業への理解を図っています。キャンプ場利用客のほか大阪や名古屋からの修学旅行も受け入れています。

5年ほど前、大物歌手のコンサートや雑誌の撮影などで急激に認知度が上がったことから、キャンプ場運営が多忙となり、本業である林業の事業期間が短くなってしまっているという苦勞も話していただきました。また、地域との連携も大切にしており、地産地消をテーマに地元農家の協力で毎月マルシェの開催をしています。



IN THE PARK 運営説明



吊りテント視察



ふもとっばら概要説明



マウンテンバイクコース

コンソーシアムで取り組んでほしい活動などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

発行：岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 事務局（岐阜県立森林文化アカデミー内）
〒501-3714 美濃市曾代88 / TEL:0575-35-2535 / FAX:0575-35-2529
E-Mail: gifu.shinrin.consortium@gmail.com